◆ 特記仕様書 廃棄物処理業務

1 業務名

安佐医師会病院等廃棄物処理業務（単価契約）

2 業務の目的

本業務は、安佐医師会病院（敷地内他施設を含む）で生じる一般廃棄物、感染性廃棄物、産業廃棄物の運搬及び処分を、資格を有する事業者へ委託することにより、適正な処理と円滑な病院等の運営に資することを目的とする。

3 業務内容

(1) 予定処理量

別添「入札内訳書」のとおりとする。なお、処理量は見込みであり増減するため、その都度、柔軟に対応すること。

(2) 留意事項

ア 受託者は、あらかじめ委託者の承認した車両を使用して業務を実施すること。

イ 業務の実施に当たっては、病院等の利用者、通行人等に危険を及ぼさないよう特に注意するとともに、廃棄物が飛散し、又は流出しないようにすること。

ウ 一般、感染、産廃ごと及び他施設の廃棄物と混載しないこと。

エ 処理場が事故等により停止する等、適正な処分が不可能となった場合に備え、他の事業者等と協定を結び、非常時の体制を構築しておくこと。その場合の委託料は本契約と同額とする。

オ 電子マニフェストでの運用とすること。

(3) 一般廃棄物の処理

ア 収集日

(ア) 原則として週3回以上収集すること。なお、収集日時は、委託者と受託者が協議の上、決定すること。

(イ) 受託者は、収集日に収集することが困難な場合は、あらかじめ委託者と協議した上で、代替日を決定すること。この場合、原則として、収集を行わない日が連続して3日を超えることなく、かつ、1週間当たりの収集日が3日以上となるよう調整すること。

イ 廃棄物等の区分及び処理方法

受託者は、次表に定めるところにより、病院敷地西側ごみ置場に集積された廃棄物等を収集・運搬し処理すること。

◆ 特記仕様書 廃棄物処理業務

区 分	処理方法
可燃ごみ（生ごみ、再生のきかない紙くず等）	事業ごみ指定袋に入れて集積されたものを収集・運搬し、指定された処理場に搬入する。
不燃ごみ（プラスチック類）	
資源ごみ（紙類、金属類、ガラスくず・ビン類、ペットボトル）	透明ビニール袋に入れる等して集積されたものを収集・運搬し、リサイクル場に搬入する。

(4) 感染性廃棄物の処理

ア 収集日

原則として週1回以上収集すること。なお、収集日時は、委託者と受託者が協議の上、決定すること。

イ 廃棄物等の区分及び処理方法

(ア) 受託者は、次表に定めるところにより、病院敷地西側ごみ置場に集積された廃棄物等を収集・運搬し処理すること。

区分	処理方法
可燃物（ビニールを含む） 使用済血液製剤、輸血バッグ、シャーレ、尿コップ、点滴ライン、ディスポ注射器、チューブ、脱脂綿、ガーゼ、包帯、紙おむつ、手袋、タオル等	「廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニュアル」（平成30年3月環境省環境再生・資源循環局）に基づき処理する。
ガラス類 試験管、採血管、スライドグラス、血沈棒等	
鋭利な金属類 注射針等	

(イ) 受託者は、十分な感染対策を施し業務を行うこと。また、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律第114号）第6条の病原体に汚染された廃棄物に関しては、委託者、受託者、処理業者との協議により収集及び処分方法を決定すること。

(ウ) 受託者は、次表に掲げる収集容器及び容器専用ホルダーを、委託者に無償で貸与すること。なお、使用開始にあたっては、あらかじめ委託者の承認を得ること。

◆ 特記仕様書 廃棄物処理業務

区 分	仕 様
収集容器	<ul style="list-style-type: none"> ・内容物が感染性医療廃棄物であることを示す国際バイオハザードマークがついた密閉式ポリ容器であること。 ・容量は3種類（20L、50L及び70L程度のもの）とすること。
容器専用ホルダー	<ul style="list-style-type: none"> ・収集容器に簡便にセットでき、足踏み式により安全かつ円滑に容器を開閉できること。

(5) 産業廃棄物の処理

ア 収集日

原則として週1回以上収集すること。なお、収集日時は、委託者と受託者が協議の上、決定すること。

イ 廃棄物等の区分及び処理方法

受託者は、次表に定めるところにより、病院敷地西側ごみ置場に集積された廃棄物等を収集・運搬し処理すること。

区分	処理方法
廃プラスチック類 点滴ボトル、点滴ライン、ディスポーザブル製品 包装紙、一般のビニール、プラスチック製品等	受託者が所有し、広島県又は広島市の許可を受けた産業廃棄物処分場で破碎・圧縮・埋立等の処理を行う。